

平成 21 年 9 月中間期 損害保険会社決算概況

1. 平成 21 年 9 月中間期決算の特徴点

自賠責保険の減収などにより正味収入保険料が減収する一方、支払備金戻入益の発生や事業費の減少により、保険引受利益は前中間期間の 1 億円から 1,406 億円と大幅な増益となりました。

また、資産運用環境は厳しかったものの、前中間期のような有価証券評価損等の資産運用費用が発生しなかったこともあり、経常利益は前中間期間比 154.9% 増益の 2,748 億円、中間純利益は 82.1% 増益の 1,892 億円となりました。

2. 保険引受の概況

(1) 正味収入保険料

正味収入保険料は、自賠責保険の料率引き下げの影響のほか、他の種目でも減収となったため、前中間期間比 4.8% 減収の 3 兆 5,109 億円となりました。

* 正味収入保険料 = 元受正味保険料 + 受再正味保険料 - 出再正味保険料

(2) 正味支払保険金

正味支払保険金は、台風などの自然災害の影響が少なかったものの、新種保険において過年度発生した事案の保険金支払いもあり、前中間期間比 0.3% 増の 2 兆 1,404 億円となりました。

また、損害率は分母となる正味収入保険料の減収もあり、62.9% から 66.4% へ 3.5 ポイントアップしました。

* 正味支払保険金 = 元受正味保険金 + 受再正味保険金 - 回収再保険金

(3) 保険引受に係る「営業費及び一般管理費」

保険引受に係る「営業費及び一般管理費」は、前中間期間比 6.9% 減の 6,035 億円となり、諸手数料及び集金費も減少したことから、事業費率は 0.1 ポイントダウンの 34.7% となりました。

(4) 保険引受利益

正味収入保険料は減収したものの、支払備金戻入益の発生や事業費の減少があり、保険引受利益は対前中間期間比 1,404 億円増の 1,406 億円となりました。

* 保険引受利益 = 保険引受収益 - 保険引受費用 - 保険引受に係る営業費及び一般管理費 ± その他収支

3. 資産運用の概況

利息及び配当金収入は、前中間期間比 21.0%減の 2,608 億円となりましたが、前中間期のような有価証券評価損等の資産運用費用が大幅に減ったことから、対前中間期より持ち直しました。

4. 資産並びに純資産の概況

当中間期間末における総資産は、株価水準が前期末より上昇したことによる所有株式時価の増加もあり、3.4%増の 30 兆 9,582 億円となりました。

また、純資産について、その他有価証券評価差額金が増加したことから 21.3%増の 5 兆 1,668 億円となりました。

5. ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率は、金融庁長官によって早期是正措置がとられる水準である 200%を各社とも上回っております。

協会加盟会社 (27 社)

あいおい損保、朝日火災、アドリック損保、アニコム損保、イーデザイン損保、エイチ・エス損保、SBI損保、共栄火災、ジェイアイ、スミセイ損保、セコム損害保険、セゾン自動車火災、ソニー損保、損保ジャパン、そんぽ 24、大同火災、東京海上日動、トーア再保険、日新火災、ニッセイ同和損保、日本興亜損保、日本地震、日立キャピタル損保、富士火災、三井住友海上、三井ダイレクト、明治安田損保

損害保険会社の平成21年9月中間期決算概況

